

# アーティストバンクの創設と文化財マップの作成を

松井美津子議員



**松井** スクール・ニューディール構想の21世紀の学校にふさわしい教育環境の充実の為に学校のエコ化の推進、校庭の芝生化について伺う。

**教育部長** 校庭の芝生化も含め、優先順位の高い方から実施してまいりたい。

**松井** 人権問題を自分の問題として捉えるべき、わけのわからんこだわりが人を不幸にしていく。そのとおりです。人権教育の更なる啓発を！

**教育部長** 人権問題を広い範囲で捉えている。いろんな研修を計画し、参加の呼び掛けも広報を使い、研修を充実していきたい。

**松井** インターネットでのいじめが増え、メディア・リテラシー教育が重要になってきますが。

**教育部長** ネットいじめは現時点で表面には出ていないが、心配される部分はある。携帯電話の問題について研修も必要である。

**松井** 文化の香り高いまちづくりのために、アーティストバンクの創設を。  
**教育部長** 市の総合的部門ごとの人材

マップの創設が考えられている。

**松井** 文化財保護の更なる取り組みと市民が、探索したくなるような文化財マップの作成を。

**教育部長** 文化財マップは是非作りたと思っています。

**松井** 市の財源確保のために公用車への車体広告の掲載を。



車体広告車

**総務企画部長** 自治体が自ら稼ぐ行政経営のひとつ、自主財源確保のために検討したい。

**松井** 災害時要援護者のためのオストメイトの方のためにストーマ用装具の備蓄について。

**健康福祉部長** 今後の課題とさせていただきます。

※アーティストバンク・プロ・アマを問わず芸術活動(音楽・演劇・絵画等)を行うアーティストの人材登録制度

# 燃やすごみの20%削減へ！

神田 公司議員



**神田** 合志市の環境行政をまちづくり戦略の中でどう位置づけるか。ごみの減量化について一貫して数値を上げて、ごみのもう半減は可能だと思っている。燃やさないごみ行政をさらに一層推進し、その延長線上に新しい清掃工場があると思う。新たなプラスチック類の追加で減量化についての数値目標をどのように検討され、あるいは設定されたのか。

**市民部長** ごみの軽量化の数値目標の計画はまだ完了致していない。しかし、6月の定例会の一般質問でも市長が答弁しているように、減量とその数値目標は必要である。平成23年度から27年度までに、5カ年計画で一応20%を目標として現在計画書を作成中。また、その何を減量していくかという燃やすごみの中から紙類、プラスチック類を分別し資源物へ。生ゴミの堆肥化や水切りの徹底もする。そして菊池環境保全組合より、今まで燃やすごみとして扱っていた玩具等を含め(例えば、プラの人形、プラモデル、衣ケースなどのほか)43種類を廃プラスチック



ごみステーション

ク再資源化マテリアル事業として、燃やすごみの赤袋から資源物のJの緑袋に移行することを考えている。これは焼却しないので、CO<sub>2</sub>の削減にもつながると思う。その実施時期については、組合と協議をしていかななくてはならないが、23年4月からの実施を目指している。また、市再生化資源集団化改修助成金事業スチール缶、ペットボトルも回収していきたいと考えている。

**神田** 20%という数値が出たが、どのような根拠なのか。

**市民部長** 10年先を一応30(%)から35くらいに下げたいというところで、今のところ23年度から27年の5

カ年で20%を削減目標と考

# 住宅リフォーム助成制度について

濱元幸一郎議員



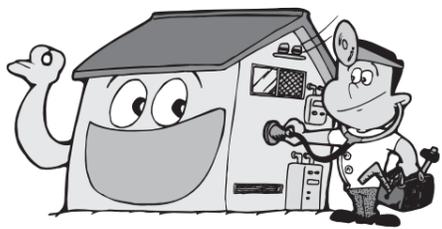
**濱元** 長引く不況で失業や倒産は底なしの悪化が進んでいる。市内の職人さんや大工さんからは「仕事が激減し生活に困っている」との声が寄せられている。住宅リフォーム助成制度は、市民が市内の企業に発注してリフォームを行う場合に、市が上限を設けて工事費の一定割合にあたる助成を行うもの。2009年4月時点で19都道府県83自治体で実施されている。住民にも喜ばれ、中小零細企業の仕事と雇用を確保でき、地域経済活性化にも効果がある。電気工事や家具など幅広い業種にも波及し、補助金額に対して20倍以上の効果があることが特徴。地域経済活性化のために、合志市でも実施してはどうか。

## 不妊治療助成について

**産業振興部長** 今議会に提案されている「中小企業等振興基本条例」の中で中小企業活性化会議を立ち上げて、効果的かつ具体的な振興方策を調査、審議していくことにしている。この制度についても活性化会議の中で議論の対象にさせて頂きたい。

**濱元** 不妊治療については現在全国で30万人近い人がなんらかの治療を受けている。厚労省の調査では、治療を受けている人の4割が治療費に100万円以上かかっているとのこと。私たちの中には「市からも支援をしてほしい」という声も寄せられている。多額の費用がかかり、精神的な負担とともに経済的な負担も大きいものがある。国に対して健康保険適用を求めるとともに、合志市独自の助成制度を創設するべきではないか。

**市長** 23年度の予算をつくるなかで、真剣に議論をしていきたい。



# 職員の士気向上とは

来海 恵子議員



**来海** 議会ごとに公用車の交通事故の報告が絶えません。現状をどのように捉えていますか。

**総務企画部長** 19年度13件、20年度11件、21年度18件、22年度(8月末)16件です。事故の原因は駐車場で相手の車にこすったとか、うっかり事故が多く、緊張感を持って運転するよう職員への指導を強化しているところです。

**来海** 「事故を起こさない。自分たちは市民の公僕なのだから、手本にならなければいけない」という、意識の啓発が必要ではないでしょうか。危機意識のなさは職員の士気の低下につながると思いますがいかがですか。

**総務企画部長** 危機意識が低下しているように思われます。その中で、今年4月には「合志市職員人材育成基本方針」を作成し、市民に役立つ市役所を目指し、人材育成を図るということをやっていますので、更なる指導を行ってまいります。

**来海** 事故だけでなく、いろいろな面で気が緩んでいると思います。もっと緊張感を持って、市民の幸福度・満

足度向上のために頑張っていたかどうかだと思います。

## 日本の子育て支援とは



一瞬の気の緩みが交通事故に！

**来海** 一般質問などで、市が開催するコンサートや講演会などに託児所を設けてはと何度も提案してきましたがいかがでしょうか。

**教育部長** 9月議会補正でお願いしている、内容はヴァイブルで開催する主催事業の託児です。

**来海** ヴァイブルはいろいろな課が使うので、全職員に「託児所を設ける」との啓発や横の連携は何処が総括するのか。

**教育部長** 9月初めに、生涯学習課から全職員に周知しました。